

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	可児市立帷子小学校		
実 施 期 間	平成26年10月8日（水）～11月27日（木）		
実 施 概 要	①図書館まつり（親子読書、読み聞かせ会、ブックトークなど） ②国語の時間に地域ボランティア「夏の会」の読み聞かせ ③芸術鑑賞会 和太鼓「倭」 ④発表がんばり週間 ⑤親子ふれあい活動・自由参観日 ⑥帷子ゲームランド ⑦小中音楽交流（中学生と小学校6年生、中3と小学校全校児童） ⑧やきいも会（健友会の皆さんと2年生） ⑨6年生社会科戦争体験講話		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	約500 人	計 約550 人
	地域関係者	約50 人	
実 施 状 況	①図書館まつり：図書委員会の子どもたちが図書館で低学年の子を中心に大型絵本の読み聞かせを行い、子どもたちが考えたマスコットキャラクター「ブックン」に読後感想を話した子にしおりをプレゼントする活動を行った。また、PTAによる読み聞かせ会を全校児童対象に昼休みに行っていた。1年生の国語「自動車くらべ」や6年生社会科「戦時中の生活」など、教科の授業との結びつきを考え、関係する本を図書館で展示して学習に生かせるようにした。1年生は、学習したことから発展させて自分の自動車図鑑を作った。先生たちは、ペア学年の教室に出かけ、素敵な本を紹介するブックトークも行った。家庭では、この期間には親子読書を行い、家でも本に親しむ時間を意図的に設定したところ、どの児童もいろんな分野のたくさんの本を読むことができた。		
	②国語の時間の読み聞かせ：1・2年生の国語の時間に、地域ボランティアの「夏の会」の皆さんによる読み聞かせ会を行っていた。昨年が新美南吉生誕100年だったことを受け、子どもたちにもなじみ深い「手袋を買いに」や「花のき村と盗人たち」をペープサートを使い、BGMも付けて演じていただいた。子どもたちは作品を通して、登場人物の気持ちや大切な心を学ぶことができた。		
	③芸術鑑賞会：和太鼓集団「倭」の皆さんによる和太鼓の演奏の鑑賞をした。メンバーがエネルギッシュに和太鼓をたたいて演奏する姿に子どもたちは引き込まれ、日本の伝統楽器である和太鼓のすばらしさを実感することができた。また、各学級の代表の子がステージ上で実際に和太鼓を演奏する貴重な体験をさせていただいた。		

- ④発表がんばり週間：各学級で目標を決め、取組方法を考えてどの授業でもこだわっていく活動を行った。自由参観日で保護者にその成果を観ていただくことができた。
- ⑤親子ふれあい活動：学年毎に親子が一緒になって活動できる企画を、PTA学級委員が中心となって用意し、親子で楽しむことができた。（タイルアートや親子障害物リレー、手作りキャンドル製作、親子ドッジボール、親子でゲームなど）この日一日は自由参観日として、保護者に好きな時間に授業参観をしていただけるよう配慮した。
- ⑥帷子ゲームランド：全校縦割りのグループ毎に自分たちで行うゲームを決め、グループを半分に分けて、半分の子が自分たちのゲームを行う「お店」に、他のグループの残り半分の子たちをお客として呼び、お互いに楽しむという活動を行った。グループで面白いゲームを工夫したり、それぞれ自分の役割を果たしたりする姿が見られ、充実した時間となった。
- ⑦小中音楽交流（広陵中音楽会）：6年生が中学校の音楽会に参加し、中学生に自分たちの合唱を披露し、評価をしてもらった。また、中学生の素晴らしい合唱を聴いて、自分たちも来年は中学校に入学して同じような合唱を創り上げたいという思いを持つことができた。
- （広陵中合唱訪問）：小学校に中学3年生の生徒が来てくれ、全校児童が合唱を聴かせてもらった。小学生とはひと味違う合唱を聴くことができ、レベルの高い合唱へのあこがれを持つことができた。
- ⑧やきいも会：地域の帷子健友会（老人会）の皆さんが事前に粃殻を用意してくださった。当日は20人の方に来ていただき、いもを焼くばかりの状態にさせていただいた。2年生の子どもたちは自分たちの収穫したいもをたき火の中に入れ、お年寄りの人たちと一緒にやきいもを食べることができ、楽しい時間を過ごすことができた。子どもたちは、いもが焼き上がるまでの時間に、来てくださったお年寄りの似顔絵をその場で描いて、国語の学習を生かして書いたお礼のお手紙を添えて、最後に手渡すなどして、地域のお年寄りの皆さんとふれあう機会を持つことができた。
- ⑨6年生社会科戦争体験講話：県内に住んでいらっしゃる戦争体験者・被爆体験者を講師に招き、6年生社会科の授業でお話をさせていただいた。実際に体験された方のお話は子どもたちの心にも強く響き、貴重な機会となった。

成果及び課題

- 保護者をはじめ、地域の方々もたくさん来校され、児童とふれあったり、学校全体の様子や児童の様子をじっくり見ていただいたりするよい機会となった。また、中学生との交流は、中学校の先輩の姿にあこがれを持ち、お互いが刺激し合う場ともなった。
- 本校のある帷子地区は、学校と保護者、地域が連携して子どもの教育に力を入れており、それが実践される場をこの時期に多く持つことができた。11月28日には、2学期最後の授業参観日を行い、全学級が道徳授業の公開をし、懇談会で児童の姿について交流する予定である。また、授業参観の感想をアンケート用紙に書いていただき、今後の授業改善に役立てることとした。
- この機会に、さらに地域の方々や本物の文化にふれる機会を多く持つように配慮していきたい。公民館や連絡所などを活用し、まだ埋もれている地域の人材を発掘し、地域の方々から学び体験する学習をより一層充実させ、意図的に設定できるよう進めていきたい。

